

# 第 68 年度（令和 3 年度）事業計画書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

## 令和3年度事業計画

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

### I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

#### 1. 研究助成金の交付

##### ◇「研究助成」

全国を対象に理事または評議員が、優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者、また他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者、特に若手の独立前後で将来有望な研究者等、本財団の目的に相応しい研究者を候補者として選出する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で審議決定をする。

##### ◇「特別研究助成」

近畿2府4県以西を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で決定する。応募者との直接の利害関係者は選考の評決には加わらないよう選考委員会規程に定めている。

#### 2. 研究成果報告

「第40回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催し、研究成果を口頭で報告してもらおう。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。財団ホームページにて成果報告（研究助成発表会講演要旨等）の公開を行っている。

#### 3. 助成の募集

「令和4年度特別研究助成」の公募を行う。

## II. 事業の内容

### 1. 研究助成金の交付

- 1) 研究助成（全国対象：50万円/件・年）：  
4年目：4件、3年目：5件、2年目：5件、新規：5件  
計 19件 計 950万円
- 2) 特別研究助成  
（近畿2府4県以西対象、250万円/件・年）：  
2年目：3件、新規：4件  
計 7件 計 1,750万円
- 総計 26件 計 2,700万円を交付予定**

各助成金の交付先は【別紙1】の通り。

### 2. 第40回研究助成発表会の開催

令和3年7月21日（水）午前10時30分から  
於 ヒルトン大阪（大阪府大阪市北区梅田1丁目8-8）  
プログラムは【別紙2】の通り。

助成期間が終了した、平成29年度新規「研究助成」交付者および平成31年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費：250万円

### 3. 助成の募集他

「令和4年度特別研究助成」の募集テーマ・募集要項を決定し、公募する。  
また、選考委員会を開催し、研究助成及び特別研究助成の審査・選考を行う。  
採択数は研究助成5件、特別研究助成4件程度の予定。  
助成事業の応募・申請・受付および審査・選考などをシステム化し、Webにより  
入力・実施できるようにする。それにより、情報の機密と個人情報保護の安全性  
および作業の確実性が高まる。また申請者や選考委員の利便性が向上する。

これら公益目的事業推進費：560万円

### 4. 公益事業拡大に向けた検討

設立70周年に向けて、現在の公益事業の拡大及び新規公益事業の検討を行う。

以上

## 令和3年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1件50万円×19件=計950万円)

助成	所属(申請時)	研究者名	研究テーマ
4 年 目	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
	京都薬科大学 病態薬科学系臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明
3 年 目	大阪市立大学大学院 医学研究科	塩田 正之	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化
	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科	池田 純一郎	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関する因子の検討
	東京大学大学院薬学系研究科	花岡 健二郎	生体深部の可視化を目指したバイオイメージングプローブの創製とその応用
	日本医科大学 生化学・分子生物学(代謝・栄養学) / 共同研究施設 分子解析研究室	早川 清雄	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析
京都大学大学院工学研究科	三木 康嗣	水溶性近赤外光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開	
2 年 目	大阪大学大学院薬学研究科	井川 貴詞	高歪み多環芳香族炭化水素の革新的合成
	国立医薬品食品衛生研究所	佐藤 薫	不飽和脂肪酸のグルタミン酸トランスポーター制御機構の解明と中枢神経系創薬への応用
	大阪大学産業科学研究所	滝澤 忍	環境低負荷型不斉ドミノ反応の開発と多官能性キラル複素環骨格構築への展開
	徳島大学大学院医歯薬学研究部(薬学域)	立川 正憲	ヒト血液脳関門透過機構に基づく脳細胞標的化微粒子創製の基盤構築研究
	福井大学学術研究院医学系部門・分子生体情報学分野	山田 雅己	核移行因子 KPNA1 による軸索輸送制御メカニズムとその生理的意義の解明
新 規	大阪薬科大学 病態分子薬理学研究室	大喜多 守	急性腎障害に併発する血管機能障害に対する薬理学的研究
	北海道大学大学院先端生命科学研究院	北村 朗	神経変性疾患の核酸医薬創薬に向けたシャペロン RNA の実証
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	久米 利明	新規アルツハイマー病モデルマウス由来組織を用いたタンパク質プロファイリングによるバイオマーカーの探索ならびに薬効予測系の開発研究
	岐阜薬科大学	田原 耕平	粘膜バリア突破型微粒子による革新的 DDS の創製と細胞機能制御
	三重大学 大学院医学系研究科 統合薬理学分野	西村 有平	データ駆動型アプローチとゼブラフィッシュを用いた肝庇護薬探索

◆ 特別研究助成 (1件250万円×7件 = 計1,750万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ	
2 年 目	第1位	大阪大学大学院薬学研究科	笠井 淳司	中枢疾患創薬を加速する全脳細胞解析による不安障害の標的分子の探索
	第2位	国立循環器病研究センター 研究所 病態代謝部	堀 美香	家族性高コレステロール血症におけるPCSK9の意義の解明と病態モデルの開発
	第3位	京都薬科大学統合薬科学系	高田 和幸	アルツハイマー病に対する自己幹細胞由来免疫細胞を利用した細胞性医薬品の開発
新 規	薬学系 第1位	大阪大学大学院薬学研究科	樋野 展正	がんゲノム変異により異常をきたすタンパク質間相互作用の効率的同定と新規創薬標的の探索
	薬学系 第2位	京都府立医科大学大学院 医学研究科	大庭 誠	がんの核酸医薬治療を目指したペプチド材料の開発
	医学系 第1位	神戸大学医学部附属病院	福本 毅	Hippo-YAP 経路によるメラノサイトの老化制御のがん化進展における役割の解明とその新規作用点を標的とする独創的治療戦略の開発
	医学系 第1位	公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院	稲野 将二郎	ユビキチン化酵素融合 nanobody から創り出す、新しい細胞内分子標的がん治療

## 第40回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時: 令和3年7月21日(水)10時30分から16時50分

場 所: ヒルトン 大阪

大阪府大阪市北区梅田1丁目8-8

※講演順、演題等は変更となる場合がございます。

10:30-10:35 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

演 題 (講演25分、討論10分)座 長

10:35- 1. 不活性結合の触媒的変換法の開発

鷹巢 守 先生  
(大阪大学大学院工学研究科)

村橋 俊一 先生

11:15- 2. サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型  
食後過血糖改善薬の合成と活性評価田邊 元三 先生  
(近畿大学薬学部)

小林 資正 先生

11:50- 昼 食 休 憩

12:35- 新規助成者ご紹介

12:55- 3. 軸不斉を活かした医薬品の分子設計-高活性化合物の創製

高橋 秀依 先生  
(東京理科大学薬学部 薬化学教室)

大和田 智彦 先生

13:35- 4. 細胞核輸送を標的とした創薬

岡 正啓 先生  
(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所)

米田 悦啓 先生

14:15- 5. シクロファンを面不斉を利用した新規触媒の開発

北垣 伸治 先生  
(名城大学薬学部)

北 泰行 先生

14:50- 休 憩 ・ 談 話

15:30- 6. 《特別研究助成》

アミドの分子変換を基盤とした医薬品シーズの創製

小林 祐輔 先生  
(京都薬科大学 薬化学分野)塩野義製薬(株)  
研究員

16:10- 7. 《特別研究助成》

環骨格子モデリング戦略に基づく多環式ヘテロ環の創製

上田 昌史 先生  
(神戸薬科大学)塩野義製薬(株)  
研究員